

厚生労働省から

風しんの追加的対策実施に向けた手引きが公表される

2月8日、厚生労働省は「昭和37年4月2日から昭和54年4月1日の間に生まれた男性を対象に実施する風しんの抗体検査及び予防接種法第5条第1項の規定に基づく風しんの第5期の定期接種の実施に向けた手引き(第1版)」(以下「手引き」という。)を公表した。

風しんの対策は、これまで乳幼児

及び妊娠を希望する女性等を中心に行ってきたところであるが、今回は働く世代の男性を対象に追加的対策を行うことにしたものである。2018年7月以降、特に関東地方において風しんの患者数が増加しており、その中心が30代～50代の男性である。

手引きによると、風しんの抗体検査に当たっては、市区町村の特定健

康診査のほか、働く世代の男性が中心であることから、事業所において定期に実施する健康診断の機会も活用される。定期接種は原則無料である。

目標は2020年7月までに対象世代の男性の抗体保有率を85%に引き上げ、2021年度末までには90%に引き上げることとしている。

日本医師会から

「日医認定産業医」が10万人に達する

日本医師会は1月29日に開催した平成30年度第31回常任理事会にて、日医認定産業医の認定者数が10万人を突破したことを公表した。

これを受けて、産業保健担当の

松本吉郎常任理事は「今後は産業医が安心して産業医活動に専念できる環境・体制づくりに向け、各都道府県医師会に設置されている『産業医(部)会』を活用し、日医主導で産業

医の全国ネットワークづくりを進めていく他、研修会の開催による産業医のレベルアップや、産業医と事業場のマッチングなども担っていきたい」との考えを改めて示した。

労働安全衛生総合研究所から

労働安全衛生総合研究所一般公開のお知らせ

労働安全衛生総合研究所では、研究施設の一般公開(無料)を次のとおり開催します。
※事前の申し込みの必要はございません。ただし、10名以上の団体の場合は各地区の問合せ先にご相談ください。

「働く人の『安全』に関する研究施設公開」

- ・日時:平成31年4月17日(水) 13:00~17:00
(受付時間:12:30~16:00)
- ・場所:労働安全衛生総合研究所
(清瀬地区/東京都清瀬市梅園1-4-6)
- ・電話:042-491-4512
- ・内容:職場における災害の防止に関する研究施設見学、公開実験、最近の研究成果のポスター展示など

「働く人の『健康』に関する研究施設公開」

- ・日時:平成31年4月21日(日) 13:30~17:00
(受付時間:13:00~16:30)
- ・場所:労働安全衛生総合研究所
(登戸地区/神奈川県川崎市多摩区长尾6-21-1)
- ・電話:044-865-6111
- ・内容:働く人の健康に関する講演、研究施設見学、体験コーナー、最近の研究成果のポスター展示など

※詳細については以下URLよりご覧になれます。

<http://www.jniosh.go.jp/announce/2019/open2019/>